

法人（事業所）理念		こどもの生き抜く力を育み、あらゆるジリツ（自立、自律）を受け入れる共生社会の実現を目指します。		
支援方針		家庭や学校で抱いた不快感・不満がおさまる居場所を提供、環境調整をしながら本人が折り合いをつける経験を積むことで落ち着きを取り戻し、次の課題に向けて取り組めるように支援する。		
営業時間		火曜日～金曜日 12：30～20：30 土曜日 9：00～17：00	送迎実施の有無	送迎あり
		支援内容		
本人支援	健康・生活	個別活動では給食の献立や自宅での食事メニューについて振り返る機会を設け、基本となる5つの栄養素について学びます。調理活動では自分ひとりのできる簡単な料理やお菓子を作り、そのレシピや原材料を知り、調理に関心を持ってもらうようにします。		
	運動・感覚	あらゆる動作の基本となる体幹や、ケガなく健康に過ごすための柔軟性を養うストレッチ活動を取り入れています。継続して取り組むことで、筋肉・関節の柔軟性や可動域の拡大、身体操作能力・体幹の安定性の向上、正しい姿勢の獲得・維持を目指します。		
	認知・行動	個別活動では利用児の特性に応じたプリント学習で文章を読んだり、指示を聞いて相手の意図を正確につかんで行動する力を身に付けます。集団活動では論理的思考力や戦略性を必要とするゲームに取り組むことで、楽しみながら力を身に付けていきます。		
	言語・コミュニケーション	プリント学習で実際の出来事などを順序立てて説明したり、気持ちや考えを適切に言語化したりする課題に取り組みます。自分の意見を伝え相手の意見を聞くゲームに取り組み、いろんな世代の利用児とのやりとりを経験し実践的なコミュニケーションを養います。		
	人間関係・社会性	外出活動で公共交通機関などを利用し、実際に買い物などを体験します。年間を通して地域の祭りやイベントに参加し、動物園や植物園、体育館などの公共施設を利用することで公共の場での振舞い方などを身に付けて行きます。		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・支援で気になることがあれば保護者に報告し、聴き取りを行います。 ・子どもの発達上の課題について話し合いながら気づきを促し、家庭と連携してその後の支援に取り組みます。 ・学校関係者・福祉関係機関との連携による支援体制を構築します。 		
移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども本人の将来の目標や具体的な意向を想定した発達評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行います。 ・進学や就業について関連機関との連携をはかり、支援体制を構築します。 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会の連絡会に参加し、障害福祉課や地域共生推進室、社協の生活支援コーディネーターと地域との繋がりについて話し合いを行います。 		
職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・外部のコンサルテーションサポートによる現場研修を行い、こどもの特性に応じた療育支援や保護者対応などを学び、職員の資質向上に努めます。 		
主な行事等		<p>外出活動（地域イベント、行楽地、公共施設、商業施設等）</p> <p>調理活動（クリスマス、ハロウィン、バーベキュー等）</p>		